

再度のお願い

新・プゴ奨学支援運動にご支援をお願いします

全国PHP友の会 会長 澤田 勝利
副会長（社会貢献担当） 真子 定義
事務局 大辺 修

2002年にPHP思いやり運動の一環としてフィリピン・プゴ村にあるプゴ・カトリック・スクールの校舎改築を支援したことをきっかけに、貧しい子どもたちも学校に通えるよう奨学支援運動をスタートさせました。以来、16年にわたって、これまで合計726名の子どもたちを支援してまいりました。

2010年に現地窓口を担ってくださっていた西本神父様のご逝去にともない、同活動を縮小してきました。しかしこの度、活動を引き継がれた山本雅子氏によるPHP友の会全国大会での講演を機に、新たな支援活動を展開したいと考えています。

下記の「新・プゴ奨学支援運動 スポンサー（里親）募集要項（案）」をお目通しいただき、ご支援を検討くださいますようお願い申し上げます。

★新・プゴ奨学支援運動 スポンサー【里親】募集要項（案）★

- スポンサー【里親】募集人数：100名 **※先着順（現在74名です。あと26名募集します）**
- 支援額：お一人13,000円（1年間） ※学生一人分の学費を支援します。
- 応募条件：原則として、全国PHP友の会 各会、正会員、法人/賛助会員 及びこれまでの支援者
- 締切：**2018年4月27日（金）必着**
- お申込方法：下記申込書に記入の上、全国PHP友の会・プゴ奨学支援運動係までお送りください。
折り返し専用の振込用紙をお届けします。
なお募集人員の100名をこえた段階で募集を打ち切ります。ご了解ください。
- 年間スケジュール
 - 4月末 現地窓口「PEPオフィス」を通じてプゴ・カトリック・スクールに学費を送金
 - 9月 奨学生のプロフィールとお礼の手紙をスポンサー（里親）にお届け
 - 12月 奨学生からのクリスマスカードをスポンサー（里親）にお届け
次年度の支援をお呼びかけ
 - 3月末 次年度の支援金のとりまとめ

----- 切り取り線 -----

「新・プゴ奨学支援運動 スポンサー【里親】申込書（4月末締切）」

(FAX：075-672-9134)

全国PHP友の会事務局 プゴ奨学支援運動係 行

ふりがな お名前			
ご住所	〒 ー		
TEL		FAX	
メールアドレス		所属会	

※グループで支援いただく場合は、お名前欄にグループ名と代表者名をお書きください。

プゴ奨学支援運動の皆様へ

私は小さな家に住んでいます。家族で寝ることができるだけの一部屋の家です。

両親は貧しくて学校を出ていません。

父は道路工事の日雇いですが、彼は私たちの王です。王と言っても人々に命令して仕えさせる王ではなく、家族のために自分を犠牲にしてすべてを与えてくれる王です。

母は私たちを最高に愛して尽くしてくれる女王です。

私は二人を尊敬し、誇りに思っています。彼らなしには今の私はないのです。

私が学校へ行く年齢になった時、両親は私をプゴ・カトリック・スクールへ入れてくれました。経済的余裕はないのに、父は必死に働いて、私を私立のこの学校へ行かせてくれました。

私の夢は家族を貧困から引き上げること、父と母を本物の王と女王にしてあげたいのです。

小学生の時に私は PHP の奨学生になることができ、親切なスポンサーが授業料を払ってくださいました。その時から、私には全力を尽くして勉強しなくてはいけない理由ができたのです。

そして、私は幼稚園から現在に至るまで、優等生として表彰され続けました。

時々届いたスポンサーからの手紙は、私を励まし、もっとやる気を起こさせました。

やがて小学生を 1 番の成績で卒業し、ハイスクールに進級した時、私はすこし不安でしたが、何事もポジティブに考えようと自分に言い聞かせました。

ハイスクールでは研究のために様々な費用がかかるので、学校でのお昼代を節約して食べないこともありました。お父さんの仕事は不規則で、仕事にありつけない日もあるからです。

でも、私はすべての困難を克服して現在も 1 番の成績を保っています。

私は来年ハイスクールを卒業します。

私の教育を助けてくれた PHP 奨学支援運動と私のスポンサー倉田真理子さんのご恩は生涯忘れません。心から感謝申し上げます。

私はすべてを所有してはいませんが、必要なものはすべてあります。私の人生は完璧ではありませんが、神様から祝福されています。

ダイアン・ピアンカ・ドクトレロ
ハイスクール 6 年生

